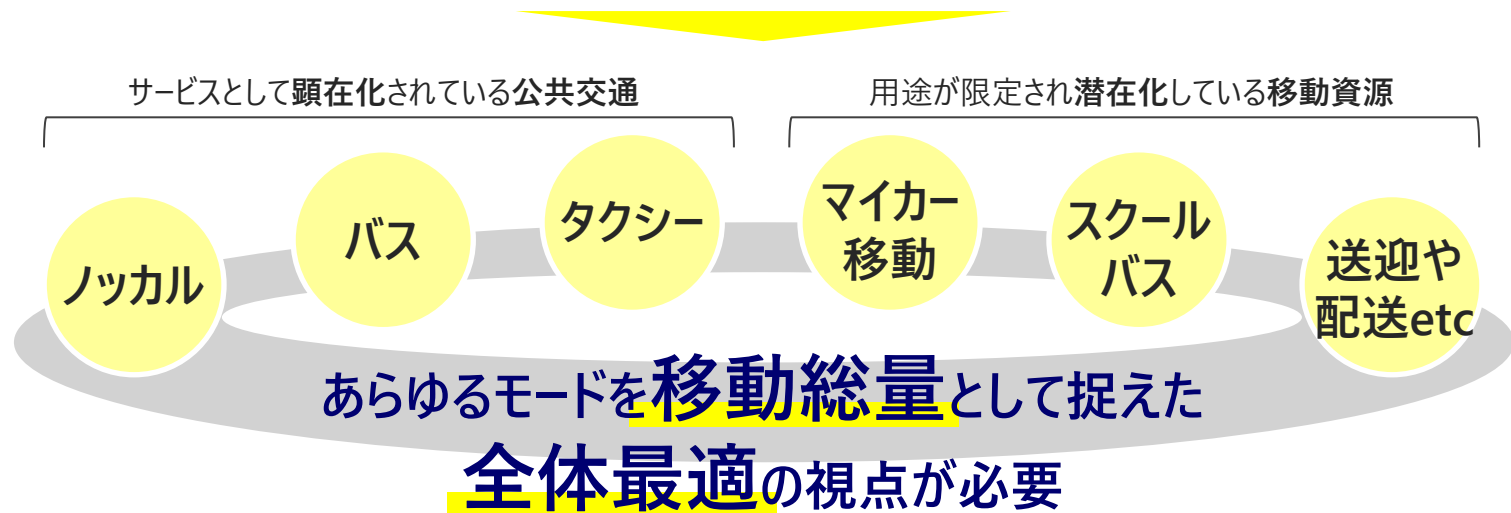


◆なぜ計画を策定するのか

これまでは〈あさひまちバス〉のダイヤ改正や〈ノッカルあさひまち〉の運行など、

モビリティごとの利便性確保／運行方法の改善等を個々に協議してきた。

→急速な人口減少が進む中、単体モビリティの強化では将来の移動ニーズに対応できず、交通網衰退に伴う過疎化の進展が危惧される。



多様なカードを無造作に並べ、闇雲に策を講じては最適解にたどり着けない...

→課題解決への**行動指針**となる『**地域公共交通計画**』を策定することに

◆朝日町地域公共交通活性化協議会（計画策定のための法定協議会）

交通事業者	(有)黒東自動車商会 あいの風とやま鉄道(株) 富山県バス協会	その他	交通運輸産業労働組合協議会 朝日町商工会 朝日町自治振興会連絡協議会 朝日町社会福祉協議会 朝日町P T A連絡協議会 (株)博報堂※ (一社)システム科学研究所※ 庁内関係課（教育委員会、健康課、建設課、 商工観光課、総務政策課）
国	北陸信越運輸局／富山運輸支局		
県	富山県交通政策局		
道路管理者	入善土木事務所		
公安委員会	入善警察署		
市町村	朝日町※		

※朝日町、博報堂、システム科学研究所を事務局として、個別に以下WGを設置する。

◆スケジュール

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			★協議会発足							★完成／公表		
										★パブコム		★3月議会★
協議会			第1回						第2回			
ワーキンググループ			適宜検討会を開催 地域公共交通計画骨子作成									

パブコムを受け、書面で第3回を開催する可能性あり

要素ごとのワーキンググループにて仮説を基に議論を進めつつ、

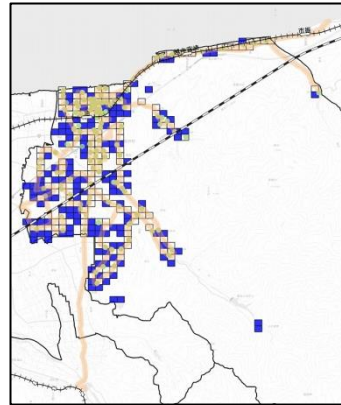
『マイカー移動データ取得』や『住民アンケート』などの個別調査にて正確な実態を掴む

◆現状分析と課題紐解き

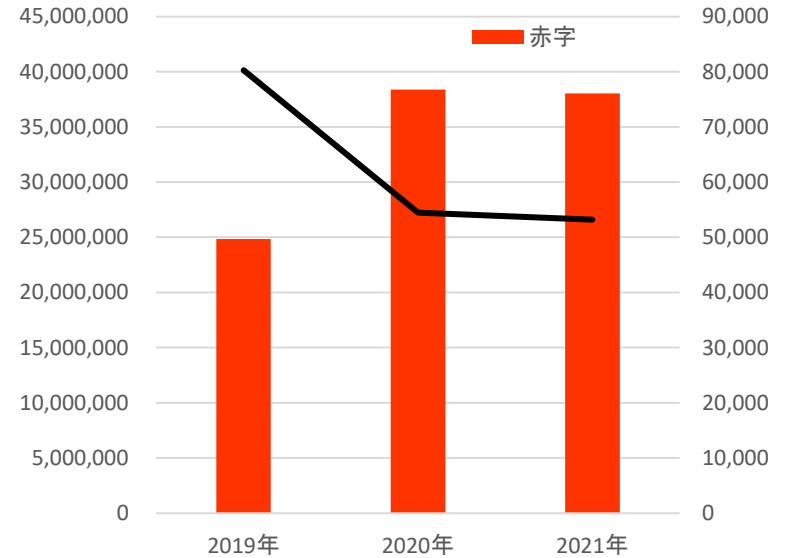
朝日町の交通分担率と人口カバー率

交通手段	分担率
あいの風とやま鉄道 (泊駅・越中宮崎駅の利用者数)	4.2%
エクスプレス	0.0%
あさひまちバス	0.3%
ノッカル	0.0%
タクシー	0.2%
自動車	95.3%

100m圏カバー率
73.5%



朝日町の公共交通の収支



※あさひまちバス・タクシー・ノッカル・エクスプレスの合計赤字および利用人数

現状

- マイカーを持たずとも最低限移動できる環境は整っている (交通空白地少ない/交通モード豊富)
- 公共交通に対するの満足度もある程度高い (アンケート必要)

ただし、このまま人口減少が進むと

課題仮説

- **運行コストが減らないまま売上が減り、行政/交通事業者ともに赤字が拡大**
 - ・行政：赤字幅の拡大のため、サービスを縮小
 - ・交通事業者：管理機能を維持できず、最悪破産も
- **利用減少も加速し、公共交通がどんどんなくなっていく**

公共交通関連の税金を増やさずに

公共交通利用回数を増やし、移動総量を増やす

【公共交通の**利便性を上げる**】

交通全体での適正化

公共交通の統合サービス化

【公共交通への**心理的ハードルを下げる**】

目的地との連携／一体化

拠点の魅力強化

【公共交通への**支払い金額を上げる**】

決済／データの一元化

資金調達ファイナンス